

株式会社RKKCSソフトへ働き方改革の取組について



株式会社RKKCSソフト 小山総務部長へ要請書を渡しました

令和3年11月11日（木）に、熊本労働局雇用環境・均等室 桑原室長は、株式会社RKKCSソフト（熊本市）を訪問して、小山総務部長へ働き方改革の取組に関する要請を行うとともに、同社の取組をお伺いしました。

同社は平成19年4月に設立以来、ソフトウェアの製造（プログラミング） 情報機器販売、入力データ作成、労働者派遣事業を行っています。

【時間外労働の削減、年次有給休暇の取得促進】

時間外労働の削減のため、年間計画を立て、さらに各月ごとの計画を立て、グループ全体で業務をカバーすることに取組んでいます。勤務と勤務の間（インターバル）を8時間以上取るように管理職へ指示しています。

管理職が各労働者の年休取得日の調整を行い、年休取得促進を図った結果、年次有給休暇の平均消化率は約65パーセントとなっています。

【多様な働き方の取組】

プログラマーはテレワーク（在宅勤務）を行っています。テレワークの導入で、通勤時間が無くなったこと、育児中の労働者が子の送迎が容易になったことなどのメリットがありました。テレワークで業務の進捗に問題はなく、対象業務や人員を広げていく予定です。

【様々な取組】

管理職の女性はいませんが、役職者は22人中12人が女性です。過去5年で新規に役職に就いたのは、男性が1人、女性が12人となっています。

過去3年で育児休業取得者数は16人、育児短時間勤務利用者数は15人で全員女性です。

高年齢労働者の雇用は、定年は60歳で、65歳までの継続雇用制度があります。65歳以上を2人雇用しています。

障害者を2人雇用しています。

有期雇用労働者は12人在籍しています。有期雇用労働者は、勤務年数が長くなるにつれ無期転換雇用に移っているため、該当者は減少しています。